



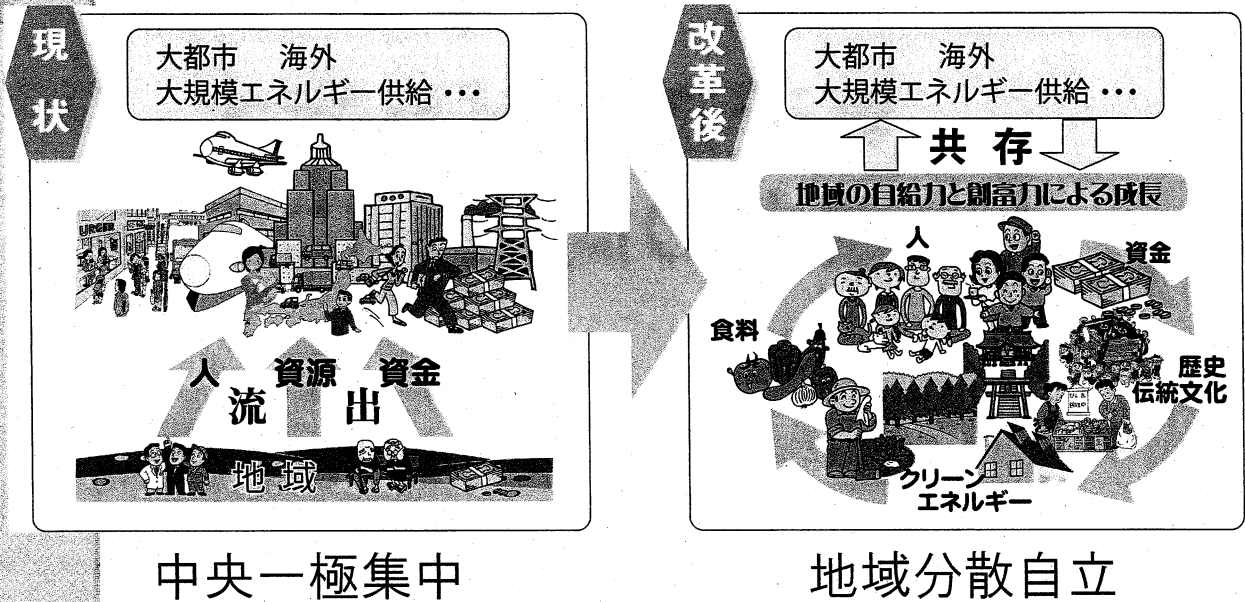
東近江市が目指す 「地域力の向上」について



「地域力の向上」関連キーワード(例)

- 発想の転換
- 地域分散型社会への変革
- 地域資源を最大限活用
- 地域自立の仕組みを構築
- 持続的发展
- 多分野連携
- 共生型社会
- 協働
- 絆の再生

中央集権型から地域分散型へ



3

緑の分権改革

地域資源を最大限活用し、地域の活性化、絆の再生を図り、中央集権型の社会構造を分散自立・地産地消・低炭素型としていくことにより、

「地域の自給力と創富力（富を生み出す力）を高める地域主権型社会」の構築を目指す。

ヒト、モノ、カネの地域循環の仕組みづくりを地域主権で実行すること

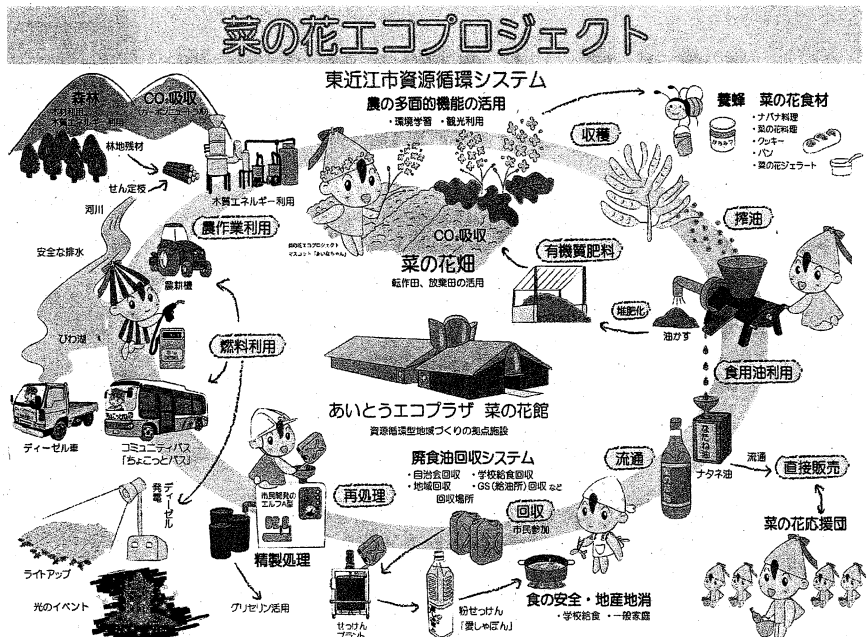
4

東近江市における市民の取組み

東近江市における市民の取組み①

● 菜の花エコプロジェクト

農家やNPO、市民団体、企業、市等が連携した資源循環の地域モデル。東近江市から全国に広がるリーディングプロジェクト



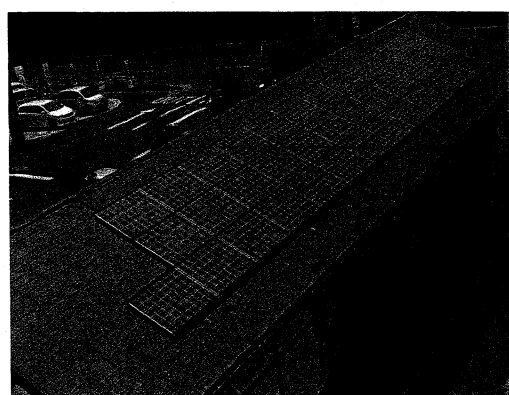
東近江市における市民の取組み②

・ ひがしおうみコミュニティビジネス推進協議会 太陽光を利用した市民出資の共同発電所事業

- ◆屋根を持たなくても太陽光発電をもつことができる。
- ◆自身の消費する電気を一部なりとも自ら発電することができる。
- ◆CO2の削減に参加できる。
- ◆出資をして配当を受けることができる。

【東近江モデル】

- ◆ドイツ・アーヘン市の施策を研究
- ◆独自に地域商品券で配当を行い、地域経済循環システムの構築をめざす。



東近江市における市民の取組み③

・ 東近江市SUN讚プロジェクト

1. エネルギーも食料も地産地消
2. 内需拡大型の地域循環経済の推進
3. あるものを最大限に活用
 - a. 東近江の豊富にある自然エネルギー
 - b. 東近江市民の活力
 - c. 商工団体と市民と行政との連携

H21. 8 次世代エネルギーパークに認定
 H22. 4 鳩山由紀夫内閣総理大臣来市
 H22. 10 びわ湖環境ビジネスメッセ出展

滋賀報知新聞 平成21年5月20日(水) (日刊)

東近江市SUN讚プロジェクト

杉田 大臣官房審議官が講演

八日市商工会議所が市民大会開く

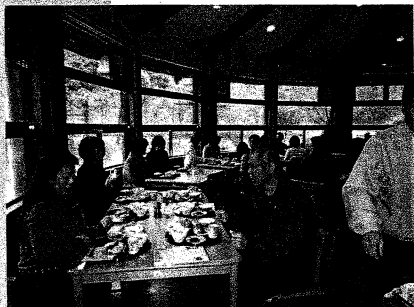
八日市商工会議所で開かれた市民大会
 八日市商工会議所が、20日(水)八日市市民センターで「東近江市SUN讚プロジェクト」の推進について説明し、市民の理解を深めようとする。講演は、大臣官房審議官の杉田 浩一氏による。杉田氏は、東近江の自然エネルギーの豊富さを評価し、地域経済の活性化に貢献することを期待した。また、市民の参加を呼びかけ、持続可能な社会の実現を目指すと述べた。

滋賀報知新聞社
 〒520-0801 滋賀県彦根市彦根1-1-1
 TEL 077(482)1111
 FAX 077(482)1112
 代表取締役社長 藤田 隆夫
 編集長 藤田 隆夫
 発行所 彦根市彦根1-1-1
 〒520-0801
 TEL 077(482)1111
 FAX 077(482)1112
 平成21年(2009) 5月20日(水)

東近江市における市民の取組み④

・東近江ハンドシェイク協議会

環境系NPO5団体、まち協4団体、財団法人、市が連携し、農家民泊、農家レストラン構想等の実現に向け活動する。

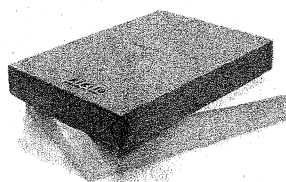
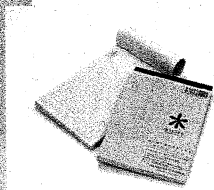


9

東近江市における市民の取組み⑤

・湖東地域材循環システム協議会 (kikito)

森林関係者、木材関係者、建築関係者、NPO、デザイン事務所、行政等が連携し、森林資源の循環利用を目指して活動する。

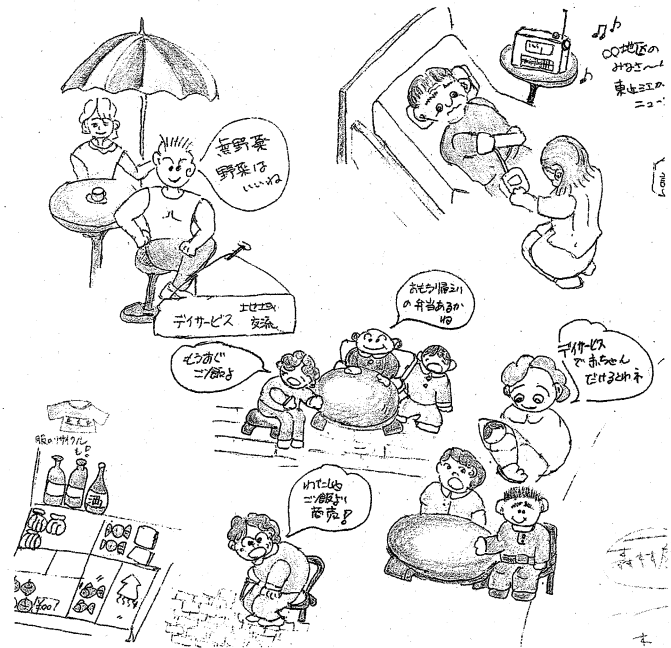


10

東近江市における市民の取組み⑥

● 福祉モール構想

福祉、医療に関わるNPOや行政、社会福祉協議会などが連携し、傷病・障がい・高齢でも安心して暮せる地域拠点作りを検討する。



東近江市における市民の取組み⑦

● 図書館、博物館

多分野（教育、医療、福祉、環境、農業、林業、商工業など）の関係者と連携しながら自治を支える図書館、博物館のモデルづくりに取り組む。



東近江市の平成23年度予算 ～「地域力の向上」を目指して～

平成23年度予算のポイント

重点実施

1

子育て支援～こども施設整備～

- ①安心と快適性を目指して 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強・大規模改修
- ②市内通学路の総点検を実施 通学路を 安全・安心な通学路に!!
- ③全幼稚園と全中学校で給食を（仮称）蒲生学校給食センターを整備
- ④安心してこどもを生み、育てられる環境のために
妊婦健診費用助成、不妊治療費用助成、子宮頸がん予防ワクチン等接種費用助成
- ⑤児童虐待防止、こどもの発達支援、不登校児童対策の充実
- ⑥保育環境充実 幼保一体施設整備、民間保育所整備支援

重点実施

2

地域医療の確立～中核病院整備～

- ⑦中核病院を整備し地域医療の確立

重点実施

3

地域ネットワークの充実～基幹道路整備～

- ⑧緊急車両が通行可能となり安心確保 垣見隧道整備に着手
- ⑨地域活性化の原動力（仮称）蒲生スマートインターチェンジの整備推進

重点実施

4

地域力の向上～緑の分権改革の推進～

- ⑩「三方よし」の精神で クリーンエネルギーの活用
- ⑪地域が支える仕組みで命をつなぐ 農林業の振興
- ⑫都市と農村の交流 農林漁業体験の受け入れ推進
- ⑬石樽トンネルを活かした地域づくり 奥永源寺地域の振興
- ⑭地域特性に応じたまちづくりのために まちづくり協議会を支援
- ⑮道普請の精神で地域住民が団結 生活道路・河川改修資材支給

平成23年度予算 —地域力の向上(1)—

「三方よし」の精神で クリーンエネルギーの活用

＜生活環境課＞

平成23年度当初予算額 2,005万円

平成22年度当初予算額 1,685万円

○環境にやさしい暮らし普及促進事業補助

平成22年度にひきつづき、地球温暖化防止と資源循環型社会を推進させる補助制度を統合して、補助金相当分を「太陽の恵み三方よし商品券」で交付することにより、地球環境保全と同時に地域経済の活性化も図っていきます。

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助 (1kWあたり2万円 上限10万円)
- ・エコ住宅普及促進補助 (住宅版エコポイントの6分の1相当 上限5万円)
- ・住宅用雨水貯留施設設置補助 (対象経費の3分の1 上限6万円)

■主な内容

環境にやさしい暮らし普及促進事業委託料
1,850万円

■効果

近江商人の心得である「三方よし」の精神に則り
売り手(商工業者:地域経済の活性化)よし
買い手(市民:快適なエコライフ)よし
世間(社会:地球環境の保全)よしの発想で地球環境と地域経済の共存を図ることができる。

15

平成23年度予算 —地域力の向上(2)—

地域が支える仕組みで命をつなぐ 農林業の振興

＜農林水産課＞

平成23年度当初予算額 1億1,683万円

平成22年度当初予算額 7,660万円

○林業振興対策事業

地元産の木材利用について、住宅建築助成に加え、木製備品等の購入に対する補助を行い、木材の活用と林業の活性化を目指します。

○食育・地産地消推進事業

地場農産物の消費拡大を目指す制度づくりの検討を開始します。

○鳥獣対策事業

増え続ける野生鳥獣被害に対し、地域と協働し対策を進めます。

■主な内容

東近江市産木材利用促進事業補助金	150万円
間伐材利用促進事業補助金	80万円
地産地消推進事業補助金	150万円
鳥獣捕獲業務委託料	1,500万円
鳥獣被害防止総合支援事業補助金	7,250万円



16

平成23年度予算 —地域力の向上(3)—

都市と農村の交流 農林漁業体験の受け入れ推進

＜商工観光課＞

平成23年度当初予算額 4,409万円

平成22年度当初予算額 3,909万円

都市部の児童・生徒が農山漁村に滞在し、農林漁業体験や宿泊を通して地域の自然や人々に関わることは、こどもたちの人格形成に大きな効果をもたらします。この教育旅行の受け入れは、受入れ家庭とこどもたちの間に深い交流と大きな感動をもたらし、それが地域の活力を高めることにもつながっていきます。

この農山漁村での体験と民泊の受け入れを市内で行うため、母体となる協議会を設立し積極的に推進します。

■主な内容

東近江体験交流型旅行協議会補助金	100万円
印刷製本費（パンフレット）	130万円
観光イベント補助金	950万円
観光協会補助金	1,750万円
東近江観光振興協議会負担金	108万円
地域活性化事業補助金	1,119万円



農林漁業体験受け入れの様子 17

平成23年度予算 —地域力の向上(4)—

石樽トンネルを活かした地域づくり 奥永源寺地域の振興

＜企画課＞

平成23年度当初予算額 687万円

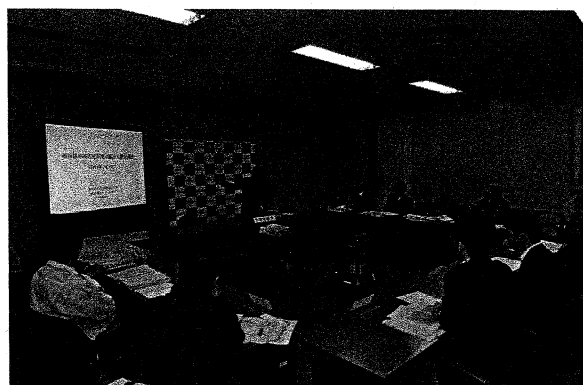
平成22年度当初予算額 549万円

○奥永源寺振興計画策定

今春、国道421号の石樽トンネルが開通し、人や物、情報の交流が盛んになることが期待されます。このため、道の駅の整備と政所茶をはじめとした産業の振興、豊かな自然環境を活かした景観づくりなど、道の駅を核とした奥永源寺の地域資源を活用したまちづくりを考える「奥永源寺振興計画」を策定します。

■主な内容

奥永源寺振興計画審議会委員報酬	34万円
奥永源寺振興計画策定委託料	150万円



第1回奥永源寺振興計画審議会の様子 18

平成23年度予算 —地域力の向上(5)—

地域特性に応じたまちづくりのために まちづくり協議会を支援

〈まちづくり推進課〉

平成23年度当初予算額 2,913万円

平成22年度当初予算額 2,704万円

○まちづくり協議会支援

まちづくり協議会の運営に対して助成するとともに、自立した協議会をめざして14協議会の更なる組織のレベルアップを行うための調査研究活動に対して支援を行います。

○地域活動支援事業

まちづくり協議会及び市民活動団体が自主企画して実施する地域活動事業に対してその経費の一部を助成します。

- ・まちづくり協議会活動支援 1地区につき70万円を限度
- ・市民公益活動支援 1団体1事業、1事業につき30万円を限度

■主な内容

まちづくり協議会連絡会補助金 75万円

まちづくり協議会交付金 1,869万円

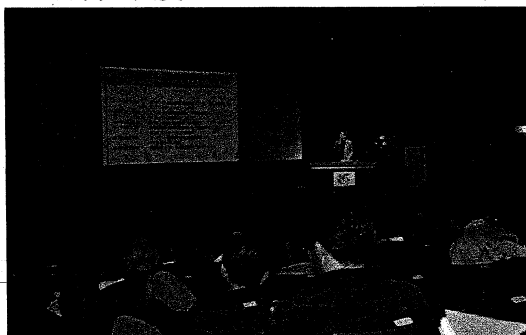
地域活動支援補助金 940万円

■平成22年度実績

地域活動支援補助金

まちづくり協議会活動支援 29件627万円

市民公益活動支援 6件100万円



まちづくり協議会交流会の様子

19

平成23年度予算 —地域力の向上(6)—

道普請の精神で地域住民が団結 生活道路・河川改修資材支給

〈道路河川課〉〈農村整備課〉

平成23年度当初予算額 2,808万円

平成22年度当初予算額 200万円

○生活道路環境整備補助金 事業費150万円以下の8割以内を助成

自治会が実施する地元道路整備に対して助成を行います。

○水辺空間整備補助金 事業費150万円以下の8割以内を助成

自治会が実施する河川改良整備に対して助成を行います。

○建設資材支給補助金 上限100万円

地域住民が自らの手で行う「道普請」等に対して建設資材の助成を行うことで、地域住民の一体感とつながりを醸成します。

清水川改修の取り組み

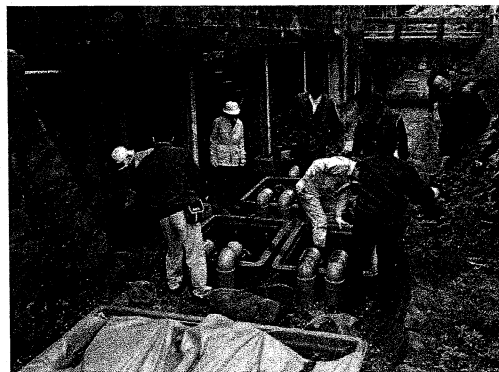
■主な内容

生活道路環境整備補助金 1,800万円

水辺空間整備補助金 750万円

建設資材支給補助金 200万円

農道補修用資材の支給 58万円



20